

現代経営学演習

南 知恵子

2015年度の演習の目標

現代経営学演習では、リサーチ・ベースド・エデュケーションの考え方にに基づき、研究の最終成果として、修士論文を作成してもらうことになります。本年度の目標は、受講生に修士論文研究と論文作成の基礎を身に付けてもらうことにあります。学術研究では、それぞれの専門分野で、何が議論されてきているかを知り、適切な方法論を用いて、論点になっているところ、すなわち解かれていない問題に対して、様々な因果連関を明らかにすることをめざします。

本学 MBA 生に求められていることは、このアカデミックな方法論を用いつつ、自らのビジネス上の問題意識を論じるべきテーマとして設定し、答えを導き出すことです。現場の問題について、ビジネス上の答えを導き出すのに、経営学分野の研究に従事し、論文を執筆するという一連のことを行うのは、当座の問題解決にとどまらず、問題の本質に迫り、より一般的な、応用のきく思考法を身に着けるためといえます。

本演習では、現実的に起こっている経営上の事象について、理論的な課題に結びつけて問題設定を行うこと、さらに研究の手法を知り、問題に対して研究を進めるということを修得できるように、指導を行います。とくにマーケティング分野および関連分野の専門知識を習得することにより、企業の市場アプローチに関連する経営問題について、問題設定と解決提案ができるようになることを目指します。さらに分析手法についても習熟することを目標とします。

講義計画

第1回目 8月15日(Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ)

オリエンテーション、各自問題意識、現時点での研究テーマ発表

第1回目は、現状でどのようなことに関心があり、この演習においてどのようなテーマを研究していきたいかについて各自発表していただきます。

《課題》 各自の現時点での研究テーマを A4 一枚にまとめて提出してください。また、当日はプレゼンスタイルで、15分程度の発表を行ってください。この発表での内容をもとに、読むべき文献リスト等を作成し、後日 TA よりリーディングの課題を指示します。

プレゼンでは、研究テーマ設定の背景(問題意識)、テーマについて、現時点で予測される関係(何かの経営事象の因果関係など)、現時点で考えている研究アプローチ(アンケート、事例研究など)、調査研究のスケジュールなどについての内容を含むようにしてください。

第2回目 9月12日

- Ⅲ 社会科学におけるリサーチについての講義 (サーベイリサーチを中心に)
- Ⅳ 論文の読み方、執筆についての講義
- Ⅴ 演習

第2回目は、研究の目的、手法、研究論文についてのイメージを掴み、理解を深めてもらうために、講義を行います。一方向的な講義ではなく、簡単な演習をしてもらいます。

第3回目 10月17日

- Ⅲ、Ⅳ ケース・ベースド・リサーチについての講義
- Ⅴ ケースに関する演習

事例研究のしかたには、様々な目的に応じた様々なタイプがあります。研究のしかたとともに事例研究論文の作成のしかたについて、実際の論文を紹介しながら解説します。

第4回目 11月7日 (Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ)

質問紙設計と統計ソフトの使い方の演習セッション

第5回目 12月19日 (Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ) 個別研究発表

第6回目 1月30日 (Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ) 個別研究発表

第7回目 2月20日 (Ⅰ、Ⅱ) 個別研究発表

第5回目から7回目までは、各自、研究の進捗状況を発表してもらいます。

第8回目 3月26日 (Ⅰ～Ⅴ) 個別研究発表

第8回目は、今年度の最終日として、修士論文研究の中間報告会として、各自研究発表をしていただきます。

《基礎的な参考文献》

田村正紀著『リサーチ・デザイン』白桃書房、2006年

池尾恭一・青木幸弘・南知恵子・井上哲浩著『NLAS マーケティング』有斐閣、2010年

第2回目以降の参考文献に関しては、適宜指示し、教室での配布もしくは ML を通じて配布をいたします。